

Oliver Cann, Director, Media, Tel.: +41 (0)79 799 3405, Email: oliver.cann@weforum.org

2015 年グローバルリスクの国際紛争上位リスト

- 地政学的リスクと社会的リスクは、グローバルリスク報告書 2015 年版の重要な特色となっています
- 地域的因果関係による国家紛争が発生する可能性の高いグローバルリスクの第 1 位に、水危機が影響が最も大きいリスクに挙げられています
- 専門家によれば、環境リスクが経済リスクより傑出したものとして、評価されています
- [レポート全文は XXX でご覧いただけます。](#)

英国ロンドン、2015 年 1 月 15 日 – 本日発行されるグローバルリスク第 10 版によれば、今後 10 年間の世界の安定への最大の脅威は、国際紛争のリスクによるものであるとしています。

今後 10 年間に発生する可能性が高いおよび潜在的影響の観点から、上位グローバルリスクに関する専門家による評価を毎年特集している本レポートでは、**地域に重要な結果をもたらす国家紛争**を、発生する可能性が高いグローバルリスクの第 1 位に、影響が大きい最も重大なリスクの第 4 位 に挙げています。発生する可能性が高いリスクの観点からは、第 2 位の**異常気象事象**、第 3 位の**国家統治システムの失敗**、第 4 位の**国家の崩壊または危機**、第 5 位の**高度の構造的失業または過少雇用**を上回っています。

グローバルリスクをその潜在的影響の点から見ると、グローバルリスク意識調査に参加した約 900 人の専門家は**水危機**を世界が直面する最大のリスクとして挙げています。影響の観点から、上記および**国家紛争**に並ぶ上位リスクは、**感染性疾患の迅速かつ広範囲にわたる蔓延**（2 位）、**大量破壊兵器**（3 位）、**気候変動への適応の失敗**（5 位）です。

2015 年に評価された 28 のグローバルリスクは五つのカテゴリー（経済、環境、地政学、社会、技術）でグループ分けされており、2015 年は、過去 5 年間に主要なリスクとして挙げたことのない地政学的リスクが、再び表面化する年として注目されます。地政学がグローバル経済にますます影響を及ぼすようになるとともに、地政学リスクは、2015 年の最も発生する可能性が高いリスク五つのうち三つを占めており、最も潜在的な影響があるリスクのうち二つを占めています。また、このカテゴリーには発生する可能性と影響力の観点から、2014 年以来最も増大している三つのリスクが際立っています。それらは**地域に重要な結果をもたらす国家間紛争**、**大量破壊兵器**、そして**テロ攻撃**です。

2015 年の概観では、社会は経済、環境、地政学的リスクからの脅威に曝されており、これら問題を解決する能力が世界的にあるのかが問われています。事実、社会的リスクは上位二つの潜在的影響リスクを占めています。

さらに特筆すべきことは、経済リスクよりも多くの環境リスクが上位リスクに入っていることです。これは、異常気象や気候変動などの課題に対処する既存の準備に対する、専門家の否定的評価の著しい増加の結果によるものであり、失業、過少雇用、財政危機などの、2014 年以来比較的安定している慢性的な経済リスクの脅威が減少したことによるものではありません。

「ベルリンの壁崩壊から 25 年後、世界は再び国家間の主要な紛争のリスクに直面しています」と、世界経済フォーラムのリード・エコノミスト Margareta Drzeniek-Hanouz 氏は述べています。「ただし、現在ではこのような紛争を遂行する手段は、それがサイバー攻撃、資源獲得競争、制裁、およびその他の経済的手段のいずれによるものであれ、これまでになく広範囲になっています。これらの可能性のある要因すべてに対処し、世界を競争へと導くのではなくパートナーシップの道筋へと戻そうとすることが、2015 年を迎えるにあたりリーダーの優先事項でなければなりません」

発生する可能性の高い上位 5 グローバルリスク	
1	地域に重要な結果をもたらす国家紛争（地政学的リスク）
2	異常気象事象（環境リスク）
3	国家統治の失敗（地政学的リスク）
4	国家の崩壊または危機（地政学的リスク）
5	高度の構造的失業または過少雇用（経済リスク）
影響がある上位 5 グローバルリスク	
1	水危機（社会リスク）
2	感染性疾患の迅速かつ広範囲にわたる蔓延（社会リスク）
3	大量破壊兵器（地政学的リスク）
4	地域に重要な結果をもたらす国家紛争（地政学的リスク）
5	気候変動への適応失敗（環境リスク）

これらのグローバルリスクの発生する可能性の高さ、および潜在的影響を評価することに加えて、*グローバルリスク報告書2015年版*では、リスク間の連結および短期から中期のリスク展望を形成するトレンドとリスクとの相互作用を調べています。連結マップから得られる次の三つの特定の事例の分析についても、提示されています。それらは地政学と経済の相互作用、開発途上国での急速で無計画な都市化に関連するリスク、新興技術に関するリスクです。

都市化については、世界中で進行している、農村生活主体から都会生活への急速かつ歴史的な移行の管理に関連する課題を軽減するために、十分なレジリエンス（復元力）をどのようにして最適に構築するかについて、レポートで検討されています。

「疑いもなく、都市化は社会の生活状態の満足度を高めてきました。ただし、都市が過度に急速に発展すると、その脆弱性も増大します。世界的流行病、権力の崩壊または権力への攻撃、水道システムまたは輸送システム、気候変動の影響はすべて、主要な脅威です」と、Zurich Insurance グループのチーフリスクオフィサーの Axel P. Lehmann 氏は述べています。

合成生物学から人口知能までの新興技術の革新の急速なペースもまた、社会的、経済的、倫理的な広範囲に及ぶ関連事項です。その急速な発展から保護し、その利点を活用することを可能にするために、十分適用できる規制環境を準備し、その誤用と予測できない否定的結果を防止することが、リーダーにとって重大な課題です。

Marsh Global Risk and Specialties at Marsh の社長である John Drzik 氏は、次のように述べています。「革新は世界の繁栄に必須ですが、新たなリスクも作り出します。新興技術から発生する問題を予測し、回避可能な惨事を防止する予防対策および管理体制を策定する必要があります。」

このレポートでは、回答者が、その従事している分野が最も準備できていないと感じているグローバルリスク、および直近10年間に最も進展したと感じているグローバルリスクに関連する分析も、提供されています。また、このレポートには、企業が自国でグローバルリスクをどのように把握しているかについて、国レベルでのデータが初めて示されています。これには、からアクセスできます。さらに、異常気象事象に関連するリスク管理およびレジリエンス（復元力）の実践の三つの事例が、このレポートで特集されています。

*グローバルリスク報告書2015年版*は、Strategic Partners Marsh & McLennan Companies および Zurich Insurance グループの支援を受けて作成されています。このレポートは、次の大学の研究者からの支援も受けています：Oxford Martin School (オックスフォード大学)、シンガポール国立大学、Wharton Risk Management and Decision Processes Center (ペンシルバニア大学)、*グローバルリスク報告書2015年版* アドバイザリーボード。

編集注記：

下記のパートナー企業にお問い合わせいただけます。

- Jason Groves, Global Director Media Relations, Marsh & McLennan Companies, 英国, +44 (0)20 7357 1455, jason.groves@marsh.com
- Riccardo Moretto, Media Relations Director, Zurich Insurance Group, スイス, +41 (0)44 625 39 45, riccardo.moretto@zurich.com

*グローバルリスク報告書2015年版*の詳細について：<http://reports.weforum.org/global-risks-2015/>

- レポート発表記者会見：<http://wef.ch/live>
- *グローバルリスク報告書2015年版*紹介ビデオ：<http://wef.ch/grr2015>
- ブログ：**Forum:Blog** <http://wef.ch/blog>
- **Forum on Twitter**：<http://wef.ch/twitter> および <http://wef.ch/livetweet> (#WEF)
- **Forum News Releases** の購読：<http://wef.ch/news>
- フォーラムのレポート：**Scribd** <http://wef.ch/scribd>
- **2015年**年次総会 の詳細について：<http://wef.ch/davos15>
- フォーラムのフェイスブック：<http://wef.ch/facebook>
- フォーラムをフォロー：Google+ (<http://wef.ch/gplus>)

世界経済フォーラム (World Economic Forum) は、グローバル・シチズンシップの精神に則り、パブリック・プライベート両セクターの協力を通じて、世界情勢の改善に取り組む国際機関です。ビジネス界、政界、学界および社会におけるその他のリーダーと連携し、世界・地域・産業のアジェンダを形成します。1971年にスイスのジュネーブに本部を置く非営利財団として設立された世界経済フォーラムは、いずれの利害関係にも関与しない独立・公正な組織です。あらゆる主要国際機関と緊密に連携して活動しています。(www.weforum.org)